

令和8年度 事業計画

人口減少が続き超高齢化社会となっている中において、働く意欲のある地域の高齢者が年齢にかかわらず活躍し続ける「生涯現役社会」の実現が求められており、シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要となってきています。

公益社団法人泉佐野市シルバー人材センターは、昭和62年11月に創設されてから今年度で40年目を迎えます。会員の高齢化が進む中、今後センターのさらなる発展を目指して、組織の活性化と会員の交流、親睦を図るとともに、シルバー事業をもっと広く知ってもらうため、「シルバー会員交流大会」を開催いたします。

普及啓発活動と併せて、今年度も「会員の拡大」を施策の中心にとらえます。新規会員を増やすとともに、会員の就業やセンターに対するニーズを把握するなどして退会抑制にも取り組んでいきます。

課題となっていた包括的契約への移行については、昨年度後半より準備を進め、4月から一般家庭、民間事業者、公共団体の新契約を開始することができました。今年度は経理事務等適切に行うとともに、引き続き、発注者への理解に努めてまいります。

デジタル化の推進に関しては、会員アプリの登録者数を増やし、情報提供のツールとしての活用機会を増やすとともに、事務事業の効率化を図ります。

安全就業に関しては、飛び石事故を防ぐ対策を行ったことにより、損害賠償件数が一昨年より減少しているものの、賠償保険への加入条件が厳しくなるなどの課題も出てきており、より一層安全意識の向上に取り組めます。

さらに、昨今のベースアップや最低賃金の改定などにより人件費の高騰が続いており、経営悪化に陥らないよう、経費を節減するなど経営改善に努めます。

今年度は、第4期中期計画(令和6年度～10年度)シルバーかがやきプランの中間年にあたるため、達成状況の検証を行うとともに、目標値の達成に向けて、以下のとおり具体的な項目に取り組んでまいります。

1 「シルバーかがやきプラン」第4期 中期計画の目標

- (1) 会員の拡大
- (2) 契約件数・契約金額の増加

2 令和8年度の具体的目標

- (1) 会員数 729人
- (2) 契約件数(請負・委任) 1,186件
(派遣) 52件
- (3) 契約金額(請負・委任) 353,470千円
(派遣) 48,479千円

3 目的達成のための具体的取り組み

(1) 普及啓発の推進

あらゆる機会を通じて、センターの基本理念や活動状況を一般家庭や民間事業所、公共団体等に広く周知させるため、以下の取り組みを行います。

- ① リニューアルしたホームページにおいて内容の更新に努め、「お知らせ機能」を活用した情報発信に努めます。
- ② 泉佐野市広報誌の活用や普及啓発チラシの市報同時回覧を行います。
- ③ 大型商業施設でブースを設置して街頭啓発活動を実施します。
- ④ 今後利用者が増えると予想される SNS 等を利用した PR 活動について検討を進めます。
- ⑤ 主要駅前清掃や地域班清掃活動、小学校下校時安全パトロールなどのボランティア活動については、今後も活動を継続します。
- ⑥ 今後センターの発展を目指して、組織の活性化と会員の交流、シルバー事業の普及を図るため、「シルバー会員交流大会」を開催します。
- ⑦ 国の補助事業である大シ協の高齢者活躍人材確保育成事業を活用して、チラシを作製し普及啓発活動に活用していきます。

(2) 会員の拡大

令和 6 年度は 16 年ぶりに会員の増加がみられました。一過性に終わらせることがないように、まずはコロナ前(令和元年度)の水準に回復させたうえで持続的な拡大を目指すこととし効果が期待できる各取り組みを積極的に実施し、会員の拡大に努めます。

① 入会促進の取り組み

- ・役員、会員が一体となって1会員1名紹介キャンペーンを引き続き実施します。
- ・会員紹介特典制度を継続します。
- ・年会費の減額、年度途中入会及び夫婦割減免のインセンティブを活用して PR 活動を継続して強化します。
- ・月2回の定期的な入会説明会、ハローワークのシニアセミナーによる説明会を継続します。
また、出張入会説明会の継続開催や入会手続きが簡略化できるウェブ入会システムについても検討を進めます。
- ・センター公用車に「会員募集中」のマグネット版の貼り付けを継続します。
- ・泉佐野市の協力を得て、さのポイントを活用した入会促進策を継続します。

② 女性会員の増加に向け、女性が興味を持つ講習会の開催や情報の発信、職域の拡大などについて検討を進めます。

③ 退会抑制策の検討

- ・未就業会員の実態を詳細に把握するとともに、きめ細かなマッチングに努めます。
- ・就業を希望しない会員にとって、同好会活動や福利厚生会活動の充実、その他メリットを享受できるような施策を検討します。
- ・高齢になっても活躍できる就業機会の確保について研究していきます。

・魅力ある組織になっているのかどうか会員のニーズ調査の実施について検討します。

(3) 就業開拓・就業機会の拡大

会員の拡大と両輪である就業機会の拡大に向けて、新規事業者の開拓に加え、会員の就業ニーズを詳細に把握し、就業先が求める人材とのマッチングの精度を高めるなど以下の取り組みを行います。

- ① 商工会議所等との連携及び民間企業への訪問活動を実施します。
- ② 公共団体との連携を維持し、新たな事業の掘り起こしを行います。
- ③ 会員入会時の面接も含め、就業相談会の充実を図り、きめ細やかなマッチングに努めます。
- ④ 一般家庭の身近な依頼に対して機動的に動けるチーム編成について検討します。
- ⑤ 会員のスキルアップにつながる研修、講習会やその他多様な講習会を計画します。
- ⑥ 労働者派遣事業は積極的に受注拡大を目指します。
- ⑦ 職業紹介事業については、今後も就業機会のひとつとして研究します。

(4) 独自事業(世代間交流・シルバー店舗)の推進

地域の親子を対象とした「広場であそぼう事業」と、シルバーの店「よってちょうだい」は、いずれもセンターを代表する事業として事業効果を見定めながら、継続実施に努めてまいります。

(5) 安全・適正就業の推進

安全就業の確立を図ることは、シルバー事業のすべてに優先します。安全就業の確保、会員の健康維持、適正就業について以下の取り組みを行います。

- ① 引き続き、安全就業対策委員による安全パトロールを月1回以上、集中期間はさらに回数を増やし実施していきます。また、事故が起きた場合には、安全就業対策委員会において、原因や対策等を共有することで、再発の防止や安全意識の向上に取り組みます。一昨年急増した飛び石による賠償事故は、使用替刃の変更や安全意識の周知により減少しつつあるものの、保険会社を変更せざるを得ないなどその環境はより厳しくなっています。さらに、安全意識の向上に取り組んでまいります。熱中症対策についても昨年度に引き続き対策を講じていきます。
- ② 会員には日常の健康管理に留意するように促し、定期的な健康診断の受診を勧め、健康にかかる講習会を開催するなどにより啓発活動を行います。また、全シ協の調査研究事業により、地域高齢者とシルバー会員とでは、フレイル発生効果が約34%も軽減されるなど、センター会員の介護予防効果に関する調査結果を広く周知してまいります。
- ③ 適正就業に関しては、会員及び企業等に対して、「適正就業ガイドライン」の周知を図り基準を超える就業については是正に取り組みます。また、就業形態が請負・委任による就業に適さない場合は、今年度から一部切り替えつつある現状を踏まえ、さらに労働者派遣事業への切り替えを進めてまいります。

(6) 調査研究事業

高齢者の就業環境の変化や社会活動等に関しては、全シ協や大シ協からの情報提供を活用し

て引き続き調査・研究を行ってまいります。また様々な課題に対しては近隣シルバー人材センターで構成される南部ブロック連絡協議会等において情報収集に努め課題解決に向けて取り組んでまいります。

包括的契約への移行については、他センターの状況等を踏まえつつ、新年度からの移行を決定し、準備を進めてきました。

役員会改選にあたる今年度は、外部理事、外部監事を選任いたします。また、新公益法人会計基準の適用など公益法人改革について、対処してまいります。

(7) デジタル化の推進

フリーランス法の施行に併せて、就労条件の明示義務化に対応するため、会員専用アプリを開設しました。登録会員数を増やすため、会員向け講習会の開催や、相談機会を創出していきます。また、「機関紙」や「事務局だより」などの電子化の検討、事務連絡等にかかる処理等についてもペーパーレス化を進めていきます。

(8) 財政基盤の確立と事務局体制の充実

持続可能で安定的な財政基盤の確立は、組織運営の基本となるものです。自主財源である事務費収入の拡大を目指すとともに、国及び市に補助金の確保について要望活動を進めていきます。

インボイス制度については、控除可能割合や期間の経過措置が緩和されたところですが、経営への影響を受けることのないように、令和 8 年 4 月より包括的契約へ移行を行いました。昨年度後半から事業所への個別説明などを済ませ、発注者からの問い合わせ対応や利用契約書の作成等概ね順調に移行しつつあります。今年度も引き続き発注者への理解を進め、単発契約への対応や経理、予算・決算などの会計処理について適切に対処してまいります。

今後のシルバー事業の持続と発展に向けては、職員のスキルアップと人材育成が欠かせません。また、職員のみならず、役員・会員等の資質向上を図るため、研修・講習等を受ける機会を確保してまいります。